

日本語における
補助動詞「～ていく」と「～てくる」意味分析
(意味論からの考察)

ファスティアリサ

0442020



マラナターキリスト教大学

文学部

日本文学科

バンドン

2009

序論

日本語では、ある動詞の意味をより強く、より詳しくするため、それに補助動詞を付けることがある。その一つに補助動詞「～いく」「～くる」がある。

「動詞のテ形+「くる」「いく」」は、「くる」「いく」がどの程度動詞としての独立性を持つかによって、意味用法が変わってくる。通常、四つの段階に分けて考えることが多いようです。（市川保子、2005, 219）

- 1) 段階1（「くる」「いく」が本来の動詞としての性質を持つ。）
- 2) 段階2（段階1ほどではないが、「くる」「いく」が動詞の性質を残している。）
- 3) 段階3（「くる」「いく」の動詞の意味はほとんどなく、方向性だけを残している。）
- 4) 段階4（「くる」「いく」の本来の動詞としての意味はない。動作の継続や変化を表す。）

金田一は動詞を四つのグループに分けている。（つじむら、1996, 314）それらは、次のようなものである。

- a) 静動詞は動作を伴わず、変化を生じさせない動詞。

例：「きこえる」

- b) 継続動詞は続ける動作を伴う動詞。

例：「はしる」

c) 瞬間動詞は短い時間に起こる動作の動詞。

例：「おちる」

d) 第四種の動詞。

例：「ありふれる」

本論

補助動詞「～ていく」「て～くる」の意味は、その文の背景にある場面により知る事ができる。以下にいくつかの例文を挙げて、分析を試みることにする。

1. キキは、はりきって、町へおりていきました。(MnT: 13)

この文では「～いく」の意味は「そこへ赴く」ということである。したがって、この「～ていく」は2階の「～ていく」の変化である。「～ていく」は段階1ほどではないが、「いく」が動詞の性質を残している。

「～ていく」は「おりる」の動詞を拘束するのである。「おりる」は継続的に行われる動作なので、継続動詞に入る。

2. 聖司が零のクラスをたずねてきました。(MwS: 65)

この文において、「～くる」は2階の「～くる」の変化である。「～てくる」は段階1ほどではないが、「くる」が動詞の性質を残している。したがって、「～てくる」はこちら側に向かうという意味である。

「～てくる」は「たずねる」の動詞を拘束する。「たずねる」は短い時間

に起こる動作で、継続的に行われる動作なのである。したがって、「たずねる」は継続動詞に入る。

結論

1. 「～ていく」「～てくる」が付く動詞の種類は静動詞、継続動詞、瞬間動詞である。
2. 一つの「～ていく」の意味は「そこへ赴く」である。また「つづく」、「～最中」、「益々」、「現れる」という意味もある。「～てくる」の意味は「くる」、「経験する」、「行う」、「益々」、「～最中」である。「～ていく」「～てくる」の変化段階がその意味に影響を及ぼすのである。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	ii
DAFTAR ISI	vi
BAB I. PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Masalah	1
1.2 Rumusan Masalah	5
1.3 Tujuan Penelitian	5
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian	5
1.4.1 Metode Penelitian	5
1.4.2 Teknik Kajian	7
1.5 Organisasi Penelitian	8
BAB II. KAJIAN TEORI	
2.1 Semantik	10
2.1.1 Semantik Kata	13
2.1.2 Semantik Kalimat	15
2.2 Bentuk Sambung Verba	17
2.2.1 Bentuk ～ていく	18
2.2.2 Bentuk ～てくる	20
2.3 Rangkuman Teori	21
BAB III. ANALISIS BENTUK ～ていく DAN BENTUK ～てくる	
3.1 Bentuk ～ていく	23
3.1.1 ‘Pergi’	23

3.1.2	‘Melanjutkan’	27
3.1.3	‘Sedang’	32
3.1.4	‘Semakin’	35
3.1.5	‘Kelihatan/Tampak’	39
3.2	Bentuk ~てくる	41
3.2.1	‘Mengalami’	41
3.2.2	‘Datang’	43
3.2.3	‘Melakukan’	48
3.2.4	‘Semakin’	52
3.2.5	‘Sedang’	53
3.3	Rangkuman Analisis	55
BAB IV. KESIMPULAN		60
DAFTAR PUSTAKA		64
LAMPIRAN I DATA		i
LAMPIRAN II TABEL		xiv
SINOPSIS		xx
RIWAYAT HIDUP PENULIS		